

1. 研究の概要図

この応募用紙に記載する研究の概要を以下の枠内に図式を用いて、概要図を作成してください。

研究課題名 在中日系企業の組織倫理風土に関する研究

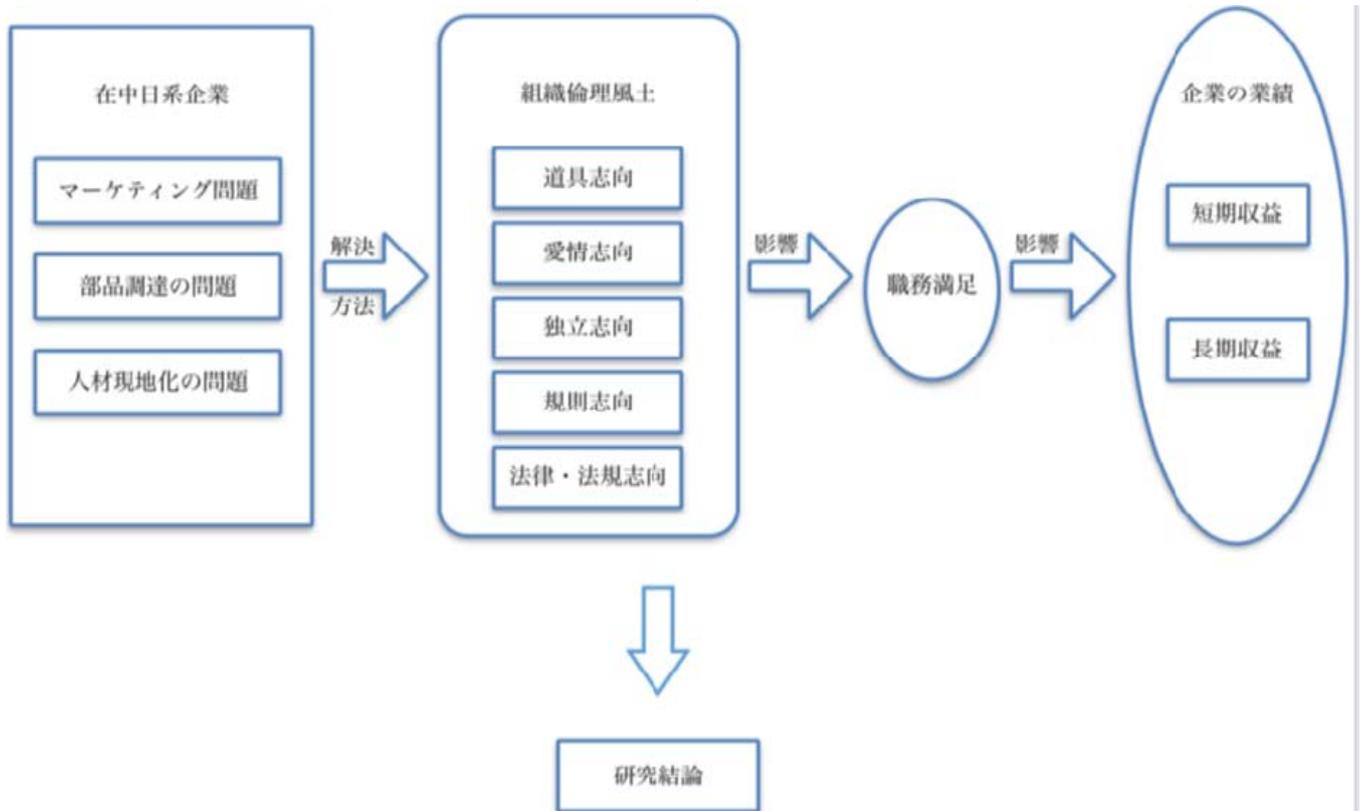
Victor と Cullen (1987) は組織倫理風土を倫理判断基準と社会分析視点の二軸で分類した。倫理判断基準と社会分析視点はそれぞれ三つの次元があり、それで九つの倫理風土が構築された。Victor と Cullen は以上の研究結果によって、組織の特定倫理風土について組織成員の認知状況を知る目的とする倫理風土アンケート (Ethical Climate Questionnaire, ECQ) を開発し、1987 年、1988 年、1993 年に三回アンケート調査をした。因子分析を行い、五種の倫理風土を統括し出した：道具志向、愛情志向、独立志向、規則志向と法律・法規志向。(表 1)

表 1 Victor&Cullen (1987,1988) 組織倫理風土の型枠

社会分析視点 Locus of Analysis 倫理判断基準 Ethical Criteria	個人 Individual	組織 Local	世界性 Cosmopolitan
利己主義 Egoism	自利 (道具型) Self-interest	企業の利益 (道具型) Company Profit	効率 Efficiency
博愛主義 Benevolence	友情 (愛情型) Friendship	組織の団体・まとまり (愛情型) Team Interest	社会的責任 (愛情型) Social Responsibility
義務主義 Principle	個人の倫理・道徳 (独立型) Personal Morality	規則と手順 (規則型) Company Rules and Procedures	法律・職業倫理 (法律・法規型) Law and Professional Codes

资料来源: Victor B, Cullen J B. A theory and measure of ethical climate in organizations [J]. Research in corporate social performance and policy, 1987, 9:51-71 ; Victor B, Cullen J B. The organizational bases of ethical work climates [J]. Administrative Science Quarterly, 1988: 101-125.

図 1 研究概要図



本研究は、上記及び指導教員である劉慶紅先生による先行研究を参考にして、図 1 に示したように、組織倫理風土の検証結果となった在中日系企業の実際の組織倫理風土の類型や特徴をまた整理し、職務満足への影響及び職務満足を通して企業の業績に及ぼす影響を検討し、最後に企業の業績に繋がる現地に適した組織倫理風土の形成に提言したい。